特別
へ13
368
2

へ遠13
門
368
巻 2

紅葉文庫

祇園物語下

入乃日下奏とも。拙作せこれ作もぐうかくとも。お
おぼのかうかうりゆ。ゆ。光おぼ拙作下向せ
うれあり。ハ。ゆ。あり。と。宮人あり。未ゆ。これぞ下向れ
ゆ。なりあり。と。ゆ。ら。ま。う。ハ。糸。豊。ぐ。ん。を
乃。ま。う。ん。ぐ。氏。の。へ。ら。れ。ま。う。ハ。ま。ま。ぐ。
ま。ハ。ま。ま。ま

みちをたづねくすり事をこゝろ
ひとりをあまぢ千万人の
ハ変もなし　ひとりむまれてひとりゆく君をうくる
下をうれたうらふおろう事ぞあるとをちぬるゝ
あれハ君臣のたちうてをしのぶふうさ物と
子ハ一世ちぎりぞ来おやといふ名ばかりの
おやのうまれし子し物　ぞの縁よりけう霧れて
そうぞうふうまておやといひぞといふ子ハ三ひとん
くひをうりぞおやこのうらをはてを来世ハ
おろさ物　ぞ夫婦の中ゝぞ物ひのこゝろ
ろぐのうくゝまんぞ夫婦のあるふうりてゝをお

これぞ物ひのこゝろとうる事なり　山三ゝ乃中よ
あ川のとゝへうくはとめうとぞ物ふまぐくゝ
りひのぞゝえあうらこゝをうゝをのをれぞさえてのはハ
いくせんぞゝをうれをゝ　ぞれたゝと孫のひ
ゝをまへとすめうゝ
志ゝてゝのゝとゝろ物ゝくハひとゝ三個五
帯のゝうゝ乃ゝまゝ　来世ふゝゝさ事ありゝで
ま三ゝてゆゝさつゝぬさゝれふつゝふゝとゝぬ乃ゝ三
うゝ五帯ゝさへおゝさゝまゝゝとゝゝん八来世ハちゝくを
あゝまゝと代くゝもあゝまぞおぞうれ事をはゝりぞゝくく
孫ゝへゝゝ事をなり　ゆゝさゝをゝうひゝうとゝ物り

さうにんをいまさきそうぞゆきあはせたりとそなはる。
先最後のみちをくてハぱ老ふ一日をたそうぐぐ
し。君臣とハ上下のこゝろ伝をさくむるなり。
上下の伝をくハぷりそあれつきあひ和ぽの者
つゝあひ川ぴざのうへ和もあぐるへしのうあひ
ぬゝうゝうへしお家よりつ付よさをんぶうしいと
有んとうへさせ〜ま世ぱしんハおやのをんをもて
ゝいふこゝろうぷやうふとるへゝうゝ八下を
ぴぐゝ教そうのいゝ井とゝへ。指ぢふり在てさゝ
ぽ人ハ釈すりぷ的ろうきふりのゝをんたし
ふとて母おやのゝへいひ有ゝとみまハぷふとまろ

さうゝとぴゝ川。あゝあるうぷ先をいつゝうゝあぐ
そうぷふうぬのゝうハるくてをぷゝうしゝをすす
をぷあうをゝそきあぷ佛といふをそゝといふを人のみ
ふあゝをもやぷうぬのみちをくハ百年五十年其
うゝふハぷお家もうくぷさい家もうくぷりてをゝへ
きゝあをきぐゝ的くハ佛ぢありてをのみうハせん。
せゝいふ人うくハ八ふ家ぷ者とありて立ゝを紹う
うあんだゝひ人へあゝとゝみふお家つゝふりいり
ゝんハぷをぷゝうそゝうりのゝくしてぷゝうふお
ぷせゝうくぷ傍の口をゆゝゆゝをあゝひまし。女
をゝゝとあゝすハぷ末の業やゝうをとゝうへ者う。

はなくこれ法ぼうこそ仏とおがませられぬ。方
とをとくこそ仏ちうのおしへ。仏のてをはぬふう
あうてらうこそけうんぶつりの姿のあて
仏よりいのちうをこそ心とこそ二つのてをや
云ひあうとれかせてぷんこそこそこそよちうひ
ぶつりひとりのくぶつて。仏よりてをうをたん
とうけいぶつ仏といとこれうこそこそ
ぶうこそ。仏よりてをぶつこそぶうこそ
しまつ仏をこそうこそこそこの笑罪とのが
まてとうけたうりぶつ仏ハこそふ仏乃ちう。
こそ。善のさいをんとのうまをすうへ一力こそうてこそ

まこそ成こそぶつこそうひしへ一こそ八会仏ちうこそ
ぶいうこそふとこそうへてつこそとめりしへ一ぶつてちうこ
こそ力よりぶつこれ。仏ハこそうこそてみげられこそ。
仏ちうこそうんだうこそこそうんぶつをおりうこそ
まのあうべこそにぶつやくこそうこそこそいふ
こそ。仏日法義とぶつおのこそ乃不実こそぶつ時法をと
あくこんぶつてぶつとこそ問答とこそうこそ。歌
又ぶうこそ。あの舌こそうこそ地獄や
こそん初よりの仏教の大こそ。次不実とこそ。
凡仏のお世こそ。勅善徴悪とこそ。指ちこそ。仏通
戒こそ。法悪業作こそ悪こそいまこそ仏こそ言葉行こそ。

善をたくしむるなり。世典の三墳五典まさに孔老の乃
毋不敬思無邪孔中庸三綱五常これなり。
外典の勧善懲悪ハ仏法ハおよそ仏義を
おこなふ人を悪道をすすめ老ハ死して同じ夫
地獄とかなり。今生の善ハ酒色の
こひうばをし。仁義たてをし。苦労していのちを
とゞめんもあらん。仏法ハ生死苦悪のうく
まぬ。来ふ善悪の報をこゝろとゝ人にゆるすべ
し乃悪をもおそれ善ふすむるなり。内勧善
懲悪とゝせども。後深あるまゝなるふ仏乃利
益をこうむるゆへの仏教なきゆへ。

とゝ人をたすけなり。たゝ人の驚所の病よりて。第と
なりいれるの二の者と問ふ。乃人よりうゝ乃答ら
ろがごとく。初ふ人天教とゝ八人ハ五戒をたゝ人天ハ
八十善を教たまふ。これ人天相性よりとゝまひし
法なり。五戒とハ殺盗婬妄飲酒なり。即五常ハ
仁義礼智信なり。五戒と五常とハ別ありて仏ハ同じ。
仏ハ綺語ハ言皆必正法とゝ善業儀世法即是仏法
説なり十善ハ不殺盗婬妄三口ふ不綺語悪口両舌の四とい
ハ貪欲瞋恚の三ハ十悪と名ゆゑ十善とゝなり。

こゝ乃五戒ナ善を拾ふ人ハ佛天を守護とす。
結天善を二善とみくハ万乗と成て守護之ゆ
仏ハいよ〳〵善をこのゝ放毫来りの善を捨
ゆゑ〳〵ゆゑ。ゆゑ乃ゆゑ二切衆生ハ人天の小楽ふ。
蛙蠅ゝ丸を拾て薫香といひ。むこく物乃海ふお
ゆゑ。世の苦界をお離せんとの。ゆゑ乃ゆゑ。仏こゝを
ゆゑ人天の五戒ナ善を捨て。佛果菩提ふいと
らゆめんと。お世の三乗一乗教あり。國王大臣ゆゑ。死
時ハ妻子も孫室も位もゆゑ。善ゆゑ。ゆゑ。ひとり
行く時へゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。

る経説のあるべし。至極と思て独ゐ知ハ海ゐ
とゝるもの。経の中ゑ五倫をとゝ記のゑまを。おゝ
ゝ。仏のいまゝ教の中ゑ。国王の制法よりもしくるゝ。
一戒をもて行ゑゝ或ハ諸国仁を経るゝゝ経もゝ。
こゝ君臣の倫あり。或ハ父母乃十悪とゝ摩耶報恩
ゝ父母恩重経ゑゝ父母乃ゝ経とゝゝ。
経とゝゝあり。釈迦ハ浄飯の金棺をかゝ目連ハ
き挽の窟苦救し盂蘭盆ハ母を救しゝ。
きりこゝ父子の倫ゝ。又不邪婬ハ妻婦乃ゝ正
ゝくすゝ戒ゝあり。開雎乃礼ゝ同し。経乃中ゑハ
四恩を報ゝ記ゝあり。一国王乃恩二父母の恩三衆生

の恩四三宝恩あり。国王ハ賞罰たゝしゝて万民
世をおたやゝふわゝゝ。父母ハ子ゝ
産ハ生ふたゝけ子ゝ。父母ゝ
恩あり。三宝の恩ハ苦海をゝれ常住の妙土にいる。
仏とゝハ。これ大恩あり。又子とゝハ自おゝ
ハ宝とも又名知識とも。或ハ子ハゝゝ三
男のゝびゝゝと。又朋友ハ仏法の肝要とする。
弟子ハおゝ高く敬恩まゝとゝ。
友ゝゝて人ハゝゝ。
虎狼ゝもおゝれよゝ。親近善友をゝ

きふり三五の乃きく儀よ御部を教たまひあり。
所生の伝おおよあ乃ふ也ハ信ゝくあんぜられて
ゝりて五常礼樂を伝法のきくとして人天
教もとゝれゝゝ経の中よ我三聖を法ゝとして彼の
震旦を化すゝゝゝ孔老釈迦をハこの三聖のも
ろらにいて礼樂の乃をゝ人の心を教ふゝす。
毛を初門と去て仏法をひろめんとのためゝり孔樂
前ハ弘て去乃後よ啓とハこれゝりゝ三又乃
乃ハ世の倫ゝを教ゝふれよ仏乃ゝ人天教な
きゝ。お世の中ゝとハさぬゝり右仏法乃大引
を去りゝけ仏乃不實ゝゝゝ門の教義に五

倫の乃を乃ゝとゝきゝての不實ゝもハ一往ゝ
理ゝりゝゝたゝ五倫を以ゝ子細あん
ゝ人の物ふゝく仏法をきぬゝゝゝその乃物を乃ゝ
らんとのでゝてゝゝん。堯舜なゝの聖人ゝを世よ
ゝ倫のみゝ也ゝるゝもゝゝ舜王ハ不告して
要ゝゝ。礼ゝたゝ人ゝ。孟子ゝ夫婦ハ五倫ゝ中乃ゝ。
ゝ倫を乃ゝゝとのゝゝゝゝゝゝハ父母ゝ悪ゝゝゝハ後祀
ゝゝハ不孝ゝゝゝゝ不告して要ゝ。ゝゝの乃ゝゝ
ゝゝ夫婦の倫ハゝゝゝゝゝゝゝゝ父子の倫ハ乃ゝゝ
舜ハ聖人ゝゝ也ハ要ゝゝゝゝゝゝ父母を思ゝゝゝゝ。
愚人ゝゝゝゝ後祀ゝゝ祀ゝハ不孝ゝゝゝゝ敬曽更

娶しまさん許さず。後祀よう俗ひあり。暫時死
ありてハ鬼神とあるべし。鬼神ハ知るべ知と。
知あるハ好食の附そむきくり舞の後祀あるべと
恨あるべ。ものあるべ。ひあるべ。恭伯るべハ父の仏を
ちりて業をとふとされ。他事ゆるれ。時ハ後祀ふ
も妻子にて。ひ俗ひ。父子のたをおとせりぬ。
上又偽ふ怪きあん君臣の倫ハ父子よりあり。父
子の倫ハ夫婦の倫よりも切なり。もおやを
捨て去るなひ妻をすべおにきふためりろ
うをとわり。蘇ハありむさ父子の倫を捨てう
ろさま婦の倫をなひとするり。余人るハ妻をりさ

ふ親とすべうとりあり。孝元も父子倫あり
とぶるるにせるまるるるるるるるり。上貨
財をこの妻子をわるるにて。父母の有るべとう人
ひとさふを不孝とすべせり。歌を養とハ衣食
をいてハ父母の身口を養ひ志よそむるを養と
たとひ身口を養ともパ父母の仏をたひるを不孝なり。
犬馬よりるまて養ること。敬せをハるふをいて
わうんるれ。妻子ふ父母の仏ふ散ハ不孝なるん者るべこ
そに志を養ふをおてをとドるひハ不孝ハ獲の乃たやせ
ま拉の乃とハたとひ礼ふたひをもたるるるるるるるを拉
乃乃とハやさんたたるべ教の部ふをつまてがを飲し時

股をあつ。親をありぬをとらんに命をたてまつる。股を
なくするハ不孝の名ゝ。命を納ん人のあるべく
不孝よりあるすべし。これを撰の名とハ云わられもせ。ゆゑ親乃
親なるゝ。そ身を撰の名とハ云わられもせ。ゆゑ親乃
きゝひをるすべ。名ゝ親なるゝ。さ名ゝ親なるゝハ盗人乃ぬを
足をもをもて撰とゝ名ゝ。又多の禹王ハ父のさゝ
ゆゝ。ゝ名ゝ。舜王のとゝ。ハ贈賂あゝ。さるゆゝ。
伝とも拝てゆきんとゝ。禹王も父のゝ。ゝ
ゝ名ゝ。ゝ世とのゝ。ゝ山林の中ゆゝ。ゝ居べき
ゝ。ゝ由。ゝとハ。堯王の云ゝ。ゝ世をゝ。ゝ
ゝ。ゝ。ゝ。

周の代々なるまハ兄弟よりもすかめるまける也。君臣
たるとをいへとも。臣をもつて臣たるすハわしたかう。
り文王の三ふん天下を二ふんらるる。紂王にたうし。
又伊尹ハ大甲を桐よりまねかえ。蓮をなをなを。
ゝ君を作り。臣にあるハ孔子もろこし善法く
ゝとりさんりのをこれ君臣のたよりぬかわる。
やう叔齊ハ父の遺言よ肖ろう。一説ハ伯夷一説ハ
左理をれて。国を捨るまそハいんぱかハ前湯ふりて。鐵
兎一せり。夫婦の倫もなし。父子ハ倫もなさに仰り
又許由をも。五倫あるをうすがくのとく堯舜
ゝも。五倫見られる事。典籍ハ文あり。仏門乃

法義も。仏法をもつて。世法をうこ。法をもつて。芳ゝ
捨て。俗の名を。愚ひを。数世人の執。あまをもつて。
をゝせんゝめり。五倫もとせ一説のゆゝあとゝ也。
荊岫の玉もすこゝ乃瑕あり。驪龍の珠ハ顔ゝ
あるす。宝山ハ乃瓦礫あり。檀林ハ乃朽木あるゝ。
すこゝの瑕をもつて。探むをすてゝ。堯舜も門ハ
乃瑕をもつて。捨るゝ。人乃一多中。海乃ゝ
なり。段生ハ乃ゝけを。手すゝ。方ゝ公をゝ。ハ
言をもつて。言をゝ。ゝるゝ。古人をゝ。
さて。おのこハ不覺ハ。ゝ。ハ。
ゝ。ゝ。ゝ。

一経記にいはく。海うみの人をうしなう人をば海つきたるなり。
悪人此の世にて殺盗淫の逆罪あり。我が悪友の友は
三悪道に堕て或は大地獄の鉄の籠に入て手を足
うち物をも訶責あり。されば海うみに思ひてもすべき人は
乃籠者のごとし。又善人は三又の道にて籠の口を
塞ぎすべし。或は天上に生れ或は十方に
浄土にいたり。まことに生て人の患累おのづから不
浄の業に海うみ来れんと。如来の五戒をたもつ。又五戒をたもつ
ものの人界に生れ来るも生と死との時大なる苦しみ
あれば方便を設もうけ。時節にも居くるべきをもち
うひあるを以て。ほとけにまうす。たゞ経力仏力又父母
すべて前の世を知り名聞あり者を和漢ともに
明らかに録を以て大海をこゆるがごとし。
一君たるべきは一日をたのしむと上古の君臣父子乃
礼儀もなし。乃ち和典あり三皇いまだ
大なる仏経の如く勧動の時は皆化生して身の光明
あり。虚空を飛行し。父母男女兄弟夫婦なりし
時とてたがいあるもあり。兵朋友乃ちなりし乃時
形容あるべきなり。日本にては天神七代の末の時
男女乃ちなりをなりし。又田をたがやし畠をおこし
なく。地乳まさに林藤をもて紙合こと火を以て食物を
調ゆるもなし。その時とて飢死する者もなりし。

く行りしに人のかうもとこう私欲さけんとあり記行
をわるかえんはもうをえ苑行もるーすー地獄をとるのふ
ありて婦人の梗業としたらもて来ありー
を合掌とそこれうり始て男女の根もいてきー夫婦は
倫もおこりり私欲ーよりくるるを以て地をあくた
色をするかありて我人のそ地をあきひふ耐の
人と淡合をす批判の人をとり立て方るは批判あり
あれは又我ようきー色にと好ひて批判の人よりり賣
きんをとるを以てそ乃人の威勢ありて婦人を嫁
ーを田を王とりり天竺は王のそーめりたくへ
町代をのくくるれと威勢ありて王となるかく君臣

夫婦なくなるは又猶曲をあるれ方像もおりり三又は乃
を明して叶をあ色にるまりり臣八吉利支丹るれ時い法如を
たるるのり法家をこりきーくを論ーを竟王は時迄ハ。
竟階三尺と三尺ーを紀を王乃ーー茅葺ーーす米
樣をーす君臣ーりりをるれ色にるー井をりてあを飲。
田を作りて飯をーー節法をんーを脇ーーを折て欲
ありと竟王の政法とー色にるふ形りしそれりり婦人乃
ひまりたるかは五倫のまりーーーーーー絶ふ佛八人寿
百歳乃時周の代ふ治お世るまハそ時ふ相意ーーそれ樣よ
ーて三五乃ーを数へ釈尊乃道三業一業の表ありされハ
佛も五倫ありり時ーそ乃を色ありて絶ふ三毒私欲

ある孔子乃、素隠士婦人ある孔大乃ふいあ事。老子の発行れ
乃域よ後世ととて、彫〻教行し也。大〻ハ上ふて書せ〻ゆく。
合論あるア。仏のとゝ〻ゆゝ三毒をんるれるハ君臣ふ
ととゝ〻ゆゝるハなるん。人と孔子乃屋にるハ。ゆゝるひ
あゝ〻。今西土教へ人のとゝ〻をけて。ほ安楽るんまを
ちゝすゝゝるひとるするやゝ家よなり財ふ。業悪人無為
と唱へふ。ちんハ儒と学ぶ人乃仁義と孝ふ。序ふ。
不仁不義をたこるひ。孝悌をさへ。ゆゝ音上ゝ。ふ孝ふ悌
なきた孔子乃答ふあゝすゝ。仏ハを兄同。礫ハ人のたゝふとを
ゆくふ。ふ。ふ。

偽のこゝろあるものとしるべしとぞ。古人も素法の中に
持戒ハ市の中に虎のとゝまりとゝのへり。今ハ名のみ比丘也。
仏の来迎をまたるゝ。たゞあゝハと時めき家を益よ
立ぬるまゝに。一経の中ゆゑ七重に宝のたゝへる金ハ
ものハ銀たり。銀ハ銅を宝とすゆゑに七重に
宝あり。後ゝのお家ハ時ハ名ゝの偽を宝とす。無戒
の偽をもてをおれの形あり。仏を作りしもあり。
仏法の来りてあるハお家あゝゆゑ無戒の比丘を宝と
し数をとるすゝしたゝハ告朔の饒羊をなゝしとゝ。
と時の偽を借類ゝるハ初の仏を供養するゆゑ猶
ありとも仮ゝり。天竺ハ書を辞して作ゝす。裏ゝを

きゝてゝ代金を粉ゝ。又病等所とゝ
ありたゝハ腸のゝゑ人の汚の色に久しくゝて汚れ染
をゝり人ゝ数ゆゑ腸あゝをゝて去ゝ。深ゝよ
れ分ゝ犯ゝるゝ。一ゝ数を作りて海ゝ人ハ心ひろ
解ゝ屋ゝ。ものゝ。ゝ時の偽ハ海ゝのゝ。腸ゝを
のゝ。ゝ仏法をすゝて初ゝ。生死の海に染ゝ
ゝ。ゝゝて海ゝ。ハ地獄の海ゝ落て涅槃ゝ岸
ゝゝ。鳥の因ゝ黒鳥ゝ。報ゝゝゝ。
偽ゝゝ人ゝ仏のゝゝ。仁義ゝて因ゝ孔子
乃仏をいて初ゝ。ゝゝ
一ゝゝ家ゝゝて因ゝ仏乃世ハ五濁

の時分ハ人ごとに農をよろこび給ふ。お新の
乃ゑの比なかふ。家まづ家もれた人ごとに人よ
さこそ千ず。田をたがやし園もうちかり。強弱ふ耕せや
餘女其中に学ぶや禄女其中にてアきれ。ハ数ようり
ゑ。神農禹稷の人よ。耕作をなくらまを。百姓を
うなひたるふうをうんん。天子乃三推も。諸侯乃五
推も。児戯に同じく。蓋をのれ。たこのひのん。芋を
て漁父ハ網罟を取り。樵夫ハ斤斧をもれ。農人ハ
耒耜をさしすて。工匠ハ槌鑿をとり子。我くらしよ
ゆるきく。庠序ふり学問賞よりとひ集ハ田を園を
けたくすゑもるく。薪もうりてこふ殺茶をうりあるこ

の人ごとくをはをゆくを足もあ川まきさを時ハ学ぶ時
餘女其中にて孔子を給乃ゑ。田園をたがやしてこそ。
禄もあるへきふうふを禄とせん。ちふふ孔子ハ周乃
代のおろへて乃をもる人千万代中ふもるれをいて学
をすくれるをこそ。ひろけ是先生子やうく
三千人ありゆ乃ハ乃をもるすゑ。伯のそへもみくせ。
五濁の世ゆて。貪嗔癡の三毒の乃ふく。市郭を乃ふ
人ふ。一人ハ家すもハうり乃源をもうり。善提の心をおこす
をあんゆ。ハ家ハ我ゆれをはきゆ。仏法を弘もうりのゑを
功法ゆきをうり。ゆをうれをを母ゆをれ。ハのふるりを版
とをゑりのをゆ。柱をゆうをふすうるのをゆ。又伏犠

たゝの時ハ人ゝの皮をきゝ木素をたくまて腐とし。
肉をとゝひ木の実を食とゝ合ありゝ其時田を
はらゝとてあくゝ耕ゝ和漢ハ田畠をはらゝ。
薬を捨て衣食を用ゆ或ハ毛獸の皮をきゝ国
ありゝ山れとりゝとゝ番りゝ国の国をとゝ治りゝハ
小国ゝ。秋ゝ伝たゝとゝ中
国ゝ三皇方ハ五びをみていい用きゝゝ。唐とおとし
儒学の若ゝく伝法とゝなり。菩薩ハ海洛より
流言ー北辰の星ハ天乃中ゝ
さゝゝ中国小ゝ千とゝ。日本ゝハ大国とゝ
ゝゝ。只ゝ田畠をはらゝ合

地ゝ人ゝ或ハ木ゝゝいとゝ小ゝを用ゆゝ
おのゝ三ゝ刃ゝとおゝ人ハ。衣食ゝ人ゝ。儒教経
を編ゝ。ゝ儒ハ紫の法服を儀礼ー法師乃
経と信ー。ゝ瓢ゝ白米ゝ。日月善とゝ
絶身のゝ絶ゝ。
仏乃ゝ和漢ゝ乃ゝ和漢ゝ。
のゝ人ゝ教化ゝ老ゝ人ゝ意ゝ。孔子
乃ゝ孔ゝ夫婦ゝ。仏法ゝ。孔子
又仏ゝ化生人ゝ乃上仏ゝ
乃ゝ経文ゝ。何
ゝ人ゝ。
一切ゝ仏ゝ仏ゝ。

ゝ多ありたゝしきゝなを仏祖ゝ伝の骨髄中より
を稚教とゝゝの志ハきゝす。仏と伝とゝ多ハ禅宗
ハ別して部仏部仏又部仏是伝ゝゝゝゝゝ中ゝゝ
ハの教ハも大乗を宗ゝとするハ部仏是伝の仏祖
とゝゝゝたゝゝ物ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。ゝゝ乃ハ物ハあゝを
物すゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

仏と菩薩ハ仁者なるゆへ多くの
事ハ千万里なれはなり。とかくの退屈を
除くを聞て。ふすまの内に仏ましまして
仏の明珠をあたへたまふ。明
珠とは心なり。されハ仏のうつしなり
地獄ハ心なり。地獄をあらすは地
獄ハ仏なり。悪鬼ハ我なり。きたなき
地獄に落るなり。たとへハ酒をすきハ我なり。
あひなりの忠切をすすハ俳諧なり。一心乃
善悪なり。業障なり。我なれハ乃
すなわち仏なり。仏なれハ乃ち地獄と思へし。

ふすまの内に仏と書て礼
すれハ仏なり。経をよむ仏を礼
すれハ仏なり。法華経ハ
大こと国の禅僧なり。禅視をすすう。
吾乃見に落て武士をたし殺生をとるを
所とするなり。然ハ立とあるなり。
たとへとハ遠して三年ハ七年なるや。
出家の施物をうけられ。
あるなり。教乃志ハ仏をみるなり。
らるものなり。法華のみをとるて中性の仏乃的珠をハ
行なりとて。地獄にあるなり。

なる氷の間をとれば、氷すなわちわるしぶや千劫万劫
いたるまでも氷とわれわれ石すなわちみとしてを解かれて
うるおうべし。涅槃の見えをいてきたるひの水を沸かす。
けるとはりの丸まとおりあり。只きたるひのみ水を
をそ色ひあめぶすかつら仏とはりあるとも仏はは
数劫のうるおり。傍日仏をみつら仏なきに陸地にて仏と
なりぬ。仏すなわち地獄にてもそ仏も地獄よりおつる
あんうぶれるべ八幡芳を賊室をはかりてはをれ
ても絵ぶ。傍日仏をみそら地獄の性あるとも仏の
まをひのふすなしぶうんそて地獄よりあり絵はりぶ八
本性をもってもて五色六色の極四。仏は本性を

達しのをいて再ひ沸ひおこすだたえは縄とあや
まりて蛇と行ひぶ乃上おそれをぶ。大水と海。長
経とあるふるりぶ。あるまりとして縄と乃ぶは。
大小長経のあるひぶ。凡夫い蛇と乃ぶあるまをれ
ぶ本性をきたるて妄執あり。仏は縄と乃ぶ
あるぶ本性とさるるのいて沸ひおこるひて沸ひぶ。縄と
乃ぶるひて蛇とは行とそすぶ。乃本性は仏なるをとを。
おこるあ時は時ふりぶ不色ふるをおこるをとを。
みあるぶ。仏はたひらあり。孔子は仏は達さるべ八。
造次ぶ顛沛をに仏はたるあり。仏もあ不達
しるひてまらひぶ。人の業法はをせる所は不色

みちさ字も仏法と又あくまでかり筆法まもれハ。
いろ〳〵に書ても見るまでかり。西施う顔すう時百乃とひ
みなりハ汚くさとうり。下地の美人のゆへなれハなり
仏も本性の理ハ違ハ。善とう仏の道ハ筆法下地の美
仏法よりすとうるまでかり。唐けう乃のあるみ
とうるるなり
乃とあるさけ是ハ孟のるまで。今時ハ来法とかう柔ハ
乃とて今時ハ仏乃教のこと孟のこと孟て教のこと孟行し。
又概と云くるまでかり。毒乃毒化とて。ひそうれ仏
うりよれ病毒ハ仏ハ災難の是とう今奇
なりハうるうりとを法くう猿猴みの波折あるを。

のうをハ是ハ人ハ乃にてうるまでかり人ハ
あんれ孟子ハ天とくと我よるをうり。極難ハ是というと
も又天ハうを難をのうまでハ。ハ不ハ是とうるうかさす。匡人そ是とうまをいうん
とて難をのうまでハ。ハ不ハ是とうくにけそて
ハ強言をうされ乃とも。陽貨ハ是とうくにけそて
すて義ちを弱ハ移れハ是ハ天とう法とう
うう時ハうそとを法ハ法ハ仕合あくうたそあふ
うそ柔ハ儒者ハうを是とうにそなりハ。孟子ハ是とう
ハ移くハ儒人のうをうをとうさんう天とくを孔子ハ是
法を義ちハ移を法とうんとうをいうまでとも。難
ハあふまでうをハ強言もあはけうをて陽貨ハあるそハ

新文もいずれおそれまうすべき時乃信ハ名ゞりて
行法あり。乃にてきゝまゐらせの比丘まゐらず。乃
仏像未乃三尺の像をとりまうすべきうれまうすべ
き。絵ふうこうしてこゝ。ゆるたまへ
一ゆ人をあて日ごとにあそばしくうきぞといつるゆゑ
こゝろにまうまゐらせ。老人きゝて聞きくゆ人乃れ
ゝゆをすゝこ。ハ四拍ごうり。乃ゞ。信ゆのるゆ
ふうきゝくゝゆ人よりてきゝくゝもゆ。ゆゝもゆふ
乃ゞ乃ゆ。名ゝをとゞをゆ。ぎゝ。奥のゆふもゆ
を。ゆゝ未の花の名て。深ゝゞすを。何者ゝゆて。極
ゆゝ王をゝすゝもゝゆハゆゝ。ゆゝ。

ゝぎハゆゝれゆりのゝゝゝのれゆるゝりとゝゆハゝゝく
をゝゝゞゝを。ゝ。神のゝゆも伝ゆゝゆゝゝゝゆゝゆハ
ゆゝゝの乃ふゆゝゆゝゝゝゝゝれゝみふゝゝゝくゝゝと思ゆゝ
仏日大神及経とゝふ。一切の法法ふ。神及ゝりゝゝゝゝ
あり。老人のゝゝれゝと同ゝゝゆゝゝゝゝゝゝゝゝん。
ゝれハ何拍をのゝゝゝゝゝゝゝく神及ゝゝハゝを入れゝゝ
ゝゝゞくゝゝゝゝゝれゆゝたゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
乃ゝふゝの乃ゝゝの目ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
実ゝ基の大臣ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝハ四ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

火をうばふ火のまん中ふ大のうまびつあるけをる人
こてぞうちうぞうぞうばぞ性うてもあんとりられぞ
ぬくちうさぬようけうをうる人はけうぞ人よおつうる
てハうのうあんとりされ言下に消うをけうとや。
ちうるハ性をあゆうぬあやうことうー。呉人乃公
うりたうとりぬぞうー性理字義うどをとれうり。
野文出生とり人ぞ。一切ふ妖うり一切ふ幻うのと
りされぞされハ石のうあふ流しぞ人乃あるうてあり自ふ
てうをれ耳ぬて教をきて縁業紅花をふう
ぎううー。うるこうぞうぞうとりぬきうりあ。
一切みふ弥及ぞさハけるまでぞうきうー弥及をけんか。

性もうれよハうーぎんんぞ石れうくれうとりハぞ法
くの宮ふるうきうぞくにてそのうふ呉おのきうくをさ
ぞく神及うとりぞ。ぞ石れうよ流ぞ宮のきうくうれば。
さてふうぎとりうすぞ伝をうぎ宮物のゆうよ石絵の
波よ寄り石撫乃ぬよ龍ハぞれ石よりうりうぬ。呉桐
うるこバふうきとりぞ。物を書よ紙板をとに書ハ書れ
乃きぞくうり物うれ昔氏とり人ハ虚元ふ経をかく
ふーぞふをうに天人の天蓋をけーのうをんてその下れ
壁原よハ雨雪ぬうぬ牧童をうれ答てぞうー石
どりうけうれうぞはよハうれれよ鄭をきうとりぞ。
呉おのきぞくうり。義傳とり人ぞ。虛宣にうるたう

ゝ。芝さゝぐにあゝずハ。流人等書だ〜。枯ぬ草ハ
枝葉を生さゝ所いきゝくゝ。枯たるゝ生ぬすハ人の
そゝゝひいるゝ。ゝぬゝ草ハ生ぬ草ハ。ゝぬ草ハ
葉準ゝ枯れ枝葉と生ゝゝとハ。ゝ草ハ。
てゝハ生ゝ草ハ見あに見ゝ。ゝゝ上ゝ実相
あゝとゝゝゝ。ゝ人のあ生ゝ。ゝ生来ゝゝハ。
ゝゝゝゝゝ。ゝ草のゝふゝ。ゝふゝゝゝゝゝ。
人のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
こゝ実おゝゝ実ゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
縁ゝゝ方法とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
実ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。

ゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
あゝゝ。ゝゝの文王乃図をゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
動をゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
妖怪とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
とおゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
伊勢ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。

あやしめて怪とするなり。武王文王仕とて。
うの実基をおこしたまふ。あるいはこれを怪と
せずして。ものをあるきはずうしなあるいはかぶ。
怪とあるいはまりはなしもあるなり。武王文王
なとをあるいはこれをひとぞうしなり。又稱揚あるなり。
外典にあせたりなり。怪とは祥瑞とをまりはなり。
一たれかはなしひとあるとしてあるはなり。人
といはまはひとはなしはまはひとはなるは
なりはひとはるなりあるはなり。たれ百大人と大悪人と。
はまつはなりはなりはなり。二人はなりはなり。
はまははは

となりとりあり。佛は乃中あまだ決定一念うて
善惡大小わきまて出ハ最初乃一念を大る。とすうう
たとへバ大海うのゆゑおいをけとりあるあり。そこみく
一滴の水の方へ流ハ東へのり。冊度るぐくもの。一滴伏丸
の方へふめハ伏見又西國へ行きぬ。で決定一念ハ
東と西國との十万里ハ遠をいてをこ。きき
うりあるこをハ。ハ。ぐれ。ふうう。駅ハたうあとせう。
教ひとうりんうふ。ぐりくうう。乃一念ハ。ぐう大たう
あるこれ。ぐうと。ぐりの。ぐ。四方の聞ぐ。ぐとを。ぐう乃
ぐう。一滴ハ。ぐうれ。ぐうにして。ぐ乃あひぐ。方里。非を
ぐうまぐ。ぐて。ぐりひ。一念ハ。ぐ。ぐ。ぐ

口の悪乃あきを沒収てハ。善乃よあらさるとさんハ。
人の家ニかくりうんされハ。戴冠するハ。ちゝき盗賊ハ。
牛とうくせり。おろよ。闘牛ハ尾とありあけ書ハ。
牧童よ美しきり。れこハ。蔵ハ入てるとふ。
角ハ。せバ。ろんぞう。紂王ハ。生ハ。刑振ふて。
弁級ハ。懸河の流乃ごとく。雨ハ。ちゝ。ぞう。
とこと。北とぞう。ふるも。今ハ。ハ。ハ。ふ。
ちゝ。人。今。と。ハ。ハ。人。の。ハ。ハ。ハ。ハ。悪
人。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。悪乃。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
居して。懸河と。法。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

徐ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

ゑあるべし。天下おさまり賢き人あるべし。大悪人となり
人ばらへて。ひつ勢を国にかぶせて賢人をまこと
らさんとあらめあるべし。国をうばうべきなり。
繁紂はうきをもてあそびあり。又悪逆をとうきひどく
勢を国にかぶせる人。一理をもて聖人乃乃又八仏法をも
ひろめあり。仏乃時八九十万移のかぶい通力自在みな。
仏ゆゑ太きうきずゑ。ゑんふをもて仏乃きを
ものとなる。孔子乃時をあるを荷うひあり。又まく
傷学する者を三又乃乃八て生式ゆを行きめ国を
をさむる方をとゞるを行りきず。毫まれども仏法を知
ずゑきりあり。繁紂乃者乃よるうる大悪人なり。
繁紂八をゑ力をもゆゑ。ひつ勢人もあるきて知まる。漫河の
潜をとゞめんをて人をうあるきゑをもちず。法人を国よりす
なりりうこ八きずひづ勢ゆ八仏法を根本をすゆき
をゑちきりうこのゑ八ひ国なゆ乃法神ゆ法ゑふけゑ
をゆたりあるゑゑをんん仏法乃ゆ八我勢ゆ来るぬ
いあるを。仏乃数乃来ゆるをひて神の知りひて。
ゑうゑびあひしるをあるをとゞめんゑ乃仏仏法を
ゆて法神乃勢く。仏法寺護又仏力ゆて神くゆ乃
風をまをすたゑのゑ。仏をを信類し法を信じ仏し
まゑどもむゑうを乃仏紀目録よあり。千万里乃ぐ
てけゑ仏法乃符契乃ゑく。神をゆあるをゑ

ゆへよ。世の佛法をかたらんに孔老乃道ハ世をたすけ一切
乃道なり。是ハ孔老をそしらずして神をおそれおそれ
ゆへよ。世の佛法をかたらんに孔老を罵ることなかれ。
是ハ佛法をそしりあハ神を罵ることなかれ。
ハ日本乃君臣父子乃道むつまじ國とぞ称ス
なれどもこれ乃ハ吉利支丹乃詩歌句。
り文章乃ハ学して徒なり。只神道にまさる。
仏法を信ずれ。國おさまるべんず孔子乃道をとるべ
ず。あまたとしのあるべんずは日本乃おきて神代より
あるべきハ問ずるべう。只神乃道をかたるべし。
孔子乃道を学ばんとおもふあるべんずは時乃傷ハ

ハ天地の理り貞おくとかたるべし。古乃時乃貞節ハ
又偽なれ貞節也。大乃道をそしりて善親其親善子ニ
甚子乃五倫ある貞おゝ劫来にハ父を子と母を妻
とし教をうるべ。兄を弟とあらず。貞おゝ人ぞを父乃
死乃時母を妻とする國あり。兄を弟親をこゝ合とする。
を善とする國をあり。ハ妻を善人のすてするべ。
善人乃妻をあひせ。ハ我妻をせん人乃國をた
とたり。又愚人乃貞節を百人の貞おをくるべあり
世乃重要のおるべあ貞おをあん事。物商売の理を。
人をあてるべんぞ下乃をんぞ上乃をとるべ
なるべ。さて聖人の考をとるべ。或ハ大乃だるを

作り。或ハ伊尹傳説を作りて世をおさめし次第。
そのかぶきものとなんしるすハ。地ぐうの乃ちくうり。古人を市
天ハ四方神明をいのるなり。かよう玄黙まへーといまめうり。
上表うたをかぶきハあんとにをあんを書しぱるい勢をうり。
日月をー半ふあるあんうりぱ作者をー受表ばバ。
よびいぐ。俸禄をうくるあんを馬追とをあいまをてかうりけりろうふハ千里をえう
ふるうりとうくぱれを千里をうをはるぱをりあ。
日くよふ里の默ちんつけてだたんばぐくあんをえ
ぱけまをいふ。欲地をくうくあんをりうあをあんぱりう
まをふハ千里のるふあちんはきんとぱひうふ用ー 倍日

蜂ハ甲にあをて宮をうと。世話よりせう。興をはう
人ハ人の富貴をうるを孫ひ櫃をはう匠人ハ人のたま
孔をうるを孫ふあり。人富貴あれハ興よのす。人乃
おかく死せるハ。棺うまず。蜂を書くあんすぱ。
あず。櫃をはう者賊者あるあすおのまくあ賊を
ぱて。孫ふうるりパナの尼云ハぱうあるて。杜把のさよ乃
おかこをいとひ孫しもあり。炭を責翁ハ乃まう
ぱうまをこをて。鶏の屋うあまど。天乃寒うんうを孫ふ。
寒けまハ炭を要程へうり。米を書う者ハ乃まうあを。
風よ吹屋ぱはうるをハおうをすを早大風を孫ひ。
薬を書うあんの人のまうひを孫ひ餅をくさ房を。

天下めのあちにゐておりひのまに家人押へ。
ちちをひろうんとゝせ。ひろ[illegible]
祈ゐをのこ。まもちんをそるくせんとゝ。合けつも。一朝
乃ゐ。兵人よりてとゝ。ちちとりてきすんひろう。
出を大よりゝ。ゐまもて海とうを。屋ゝとゝ。なひゐで。
あさまーさ磐ゐをあまーきふゐ節ゝう盞乃
死をすゐゐう。千里ん駅ちんのひひおゐ。ゐちまきな
ちくゝさ若をゐ。ゝ。ゐハ。ゐ。ずゐ。きふゐ。す。
陳清ゝ日周ふ屋ゝとゝ。ーゝ。ふ。ゐ。ゝ。ゝ。
とゝけつを。ゐひの若ゝ。ひゝれバ。遨雀ゐんて鴻
鵠乃ん。さーを。ちんとゝ。ゐよりゐゝにゝれゐひ人ゐ

ふゐゝ。これ。おゐ。ゐ。ゐゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。世
一茶屋のあゝーゝそゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
乃ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

侍日ちのるさるゝ世ふとゝさ地ゐうぷゐ中風。
若のあゝるゑ。武士の怪病よ。智者乃早世。元よ
乃暁のるゝ。屋ゐ月雪ゐゝれ。極上ゑ業乃ゐゝ。
大名の男をゝゝゝ乃室の海よりゝ。ゐゝとゑの美ゝ
の美てハゝすゝ。ゝのゝゝ。ゝ恋をゐ十人乃一こ
とゆゝゝゝるを。ゝゝ。ゝゝ友よゝ。ゝ。ゝゝ
ゝ。ゝゝ。ゐ。ゐ。ゐ

ところ

筒よりのぞきてゆくに見るあるよあるき老人ひとり炎
手猫をもちうと五百匁三百匁ばかりなどいふ
拾ぞとれば一銭二文をつかひうをかうてかうて
乃遊ひて座敷まひ舞ふ者の屋敷老人ふ金銀とう
せいくとなくなりぬるにより懐病よりんハもち
孫どもく喧嘩しを病をもうをかうるふハ和りう。
ときれ乃一人めつつめてかりきるもうにこきるも。
う乃内よりてるんとこうハかりこさうかるとも試ろハ
たりきぞ。嵐も猫よりとりハ戦場よ
て首とうと孫すこれ猫よりひくとうるふ武功の
人をまもるりぞうき老れ多猫ハ大名のりぐらてハ

和うかう乃上今れハ代ハ弱過ふて海太平うと
いてう糸を袋よ入旗旗とおりゆん馬をとれ山ふ年
と拙林よこうらて戦ひうに対るまぐ武功人を
弱ぐこ。白ハ或ハ老しい或ハ死しいたなんう
こうれ若をも抱のふうふ大乃乃うに人今こてハ今
まで八うで五倍の出用を洞ハ活ん。こうら武勇
人をこ。人のつる月貝のたり。猫のこぐこめくこきバ。
ばまでくれうり。亜蘭君ぐ三千人者乃中うハ。
鶏のまひをすう若ををこ。りうまりうとうう儀よ肉よ。
家老武功の若うてこりぐりばふふあ。ずこうて
なくこ今内でハなふて大名ふいううへこ武士

ふハぬちうハいゝ孫ごもぐゝ人らはぐそかゐと乃人をゐる
いハぐ大名れりもざうぐぐ山ゐで用うけぐ米屋ゐをとア
あうハ嵐あぐゝちく米をとハアぐぐすうとア
けまで日用ゐア屋うハぐ米をうをあ用ゐをぐぐ人。
俄前ういうりに入ア世ハぐうぐとゝ人ピけうきすゐ
いぐれハ大名乃ちをとうひアハぐ大ゐ俄あをうれゐう
一追服きうとうちゐすうゐ人のゆ公ゐうゐ人と見えて。
伴ぐんしけうハぐい服ううとうゐれぐゐぬうをぬゐ
そなうきれぐうううにてもうきゐ乃弟一ゐゝ。
毛詩といふをあをぐれとそゝ足孔子孟子ゐぐをぐう
ハ足ゐうきなりぐきいゝ人ハ足義ゐ孟

とうゐぐんというゐうゐうゐ角ゐぐうきて猫ゐうをき
ハぐはゐゝ家の用ゐゐいるゐあゐすゐ乃ゐゝ人も孔子
乃ゐをゐ乃ゐゐくのゝ人ゐをいるゐうゐ足ゐ孟を
あうくきゐ人ゐ服をうりて弟をゐうゐ乃ゐわゝハ親
とゐとをん乃ゐうにハなゐ人のゐゐみゐ追服をうんや。
ゐ足君ゐ歳てをゐゐきゐ乃ゐうゐ君乃君ゐう人ハ下
乃上中下乃ゐゐそあきゐ乃ハ用ゐハ命をゐうゐぬと。
きんゐんゐ四ゐうゐうゐそゐゐふをがうにをゐう人けを。
一人ゐ二人をうてハゐ乃ゐのおきゐうゐぬ猫ゐてゐいう
人乃ゐうをハゐゐゐきゐうゐ
侍日ゐう乃地ゐハをきゐう乃ゐうゐなをする若ゐあ

ふべからずとおくの追服きう事。毛髪を見そなはす。
孔子をぞ。先偏を法ろう人へ。はなはだ人とゞまり。昔
人の死せるは。草とむもとび人形みて。伴ふ女に後は
ずとて。ほうり。目鼻までとつけ。先を偏人とゞまり。
はずふく。目鼻なくて。法ろう。赤ん子孫なる人とゞ
まれり。ずにて。法ろう。人を伴ふすること。
なるべし。きるゆとゞまるべし。子孫なんも。ほうる。業
乃とく。秦の武公の死しのとき。百六十六人伴
あるとう。同代の縁公の時。百七十七人ともなりぬ。
奄良仲。行鍼虎と。良臣と。此三人。縁公乃。
同葬のときはまりたのむ。死してもともに。たのむ。

と勅あり。ちゑ三人のゞ。まずとゞまりて。伴きまき
あり。始皇乃時。ハ。をを大なるあり。ゞ。ゞ。ゞ

きりハ絶るなり。地獄のことハ人ごとにかたるなり。或ハ行ひ人ハ今時ゝ腹をきる
比翼乃鳥地ふかくに翼乃枝とかたん腹乃未山代奥
まてもそなりふとぢりとこ絶ゝ為ん或ハ小者ゝ
をしてゆふなり。行ひ人のかふるゝ乃和などを
ちるの或ハ一言ハ云ん世ゝ孫を元異ふ
ある人今まゝ乃侍の間ふもぐ急ゝ知ゝる人。
うゝ乃ふ。　主君ハ武をぞ切ぶ
ふゝ乃主。儀ゝ人よ。ゝめんゝ乃ハ或主君を
行ひて俳ゝ乃ハ郭忠
とゝ乃ゝ乃ゝにゝ乃ゝ乃ゝ乃

我ら結ぶ[illegible]だんと思へば人を又我らうまれうる者ぞ。
まうまうんと思ふ。あづかり我ら[illegible]たる者うてハ。
まづまづまづまづと思へハ撞のたたりぞと申ふ。言曰。
行きても撞ぞ
信昌物紙乃一紙ハ孔子の御ふの法。
友とするまうれとゝ。論語の法大全こうれ
一そこう乃こうをすうをんて[illegible]
物ゝうう人ハあうくそうあ人ハ姉ゝ乃寒天ふ行道乃
思ふてもそこうにてハ[illegible]
乃をうをんとそこうふう[illegible]
そひハいう乃ゝにをあうべさ[illegible]

ふ行りひよりを所ふ
侍曰物ゝうゝ[illegible]欲ゝうれふ仏ゝうれたうひ世中
ふおゝう深山の奥ゝ[illegible]
くひ来なゝ[illegible]
ゝうゝ撞ゝ行人ゝ[illegible]
海ゝうなゝ海色をみ[illegible]
乃也寒天ふ裸ゝ海の中ふいう奥なゝ[illegible]
さ乃ふ月ゝうゝ[illegible]
行ゝ[illegible]
ふ不浄をふうひ侍なゝ[illegible]
乃ゝにてハ嘉ふ海ひ[illegible]

くれたくはかりこゝろを屋敷にはとどめうるすか
きりのゝ也給へて鹿酩なりうるすゝはまゝ
ゆゑいたづらもはゝ給へもくはお姿のこゝろ地をぬけん地を
と思へばゆゑの者を海色乃海士も古人をしゝ来かゝ
ゆゑで給へもくづりて人をまきゝ来かゝお
はて地をもつぐられゝよりまゝ実乃みを
くはゝ海色をて奥乃ひをくひとりうるゝ。
されみゆゑ色玄乃業国ゆゑと流しぞう裸のもを
すゝ人もとゝどゝうきゝれゝどゝを玄乃みんゝを玄にる
みくゝ日乃命をたくさゝすゝるゝゝ欲ゝ
きゝふわゝず富を乃人子乃侍は賊室をたゆやす

はゝどゝうきゝるゝれゝども好はゝ元命を玄ゝ我はゝを見をゝく。
命をしゝるゝも業国とゝ乃ゝはゝ新ゝくゝどゝうをゝ。
金銀を義ゆゝを満て賊室乃屋門をゝうて系を
乃ゝうゝ。命地もゝゝどゝうゝ錢をも惜てゝくゝたゝゝ
てはゝ病ゝるゝ屋ゝなゝ人ゝあゝ或はゝおゝゝ九貧賊義
なゝゝ万里九波清を海をゝ玄ゝ国人命を的ゝけて
者ゝ人ゝあゝ刑欲の毒を嘆嘆をゝく死ゝ人をゝ毒。
ゝゝゝ

をあんの人の名をかくまんばかりかくれるうり次よ孔子乃
約をいて失を所はもくをとりまれば約のうち
人と合うるうる民のをめをとめられ国おぐるる
所といるりとれ人ハあく国で欲かく金銀と花ふさ乃
民をひさがりうるしむれ国をこなひ者ありこ目い
約をあるで去られとりあるうるれば民をもしさがりい
国をうしるふうり孔子居に
国こさ大人ハ和漢ともに国をうしるふうり孔子居に
不寛ハ仁をもふをいてうれんとりやり人乃ふよ
ものてうひいぶりこさうあるずうこあるさハもうど
律の国の編木叔とり去あり金銀米穀ものと花よ
ものてあるうとれるうるるふをどもるず

はうひて命ず教れるを色にもうひて有りわるなのれ
と人かれて大こはうひしるひ六年ようりて死しよ。
薬をのむ泪つをるず死してなおをうけられ人をあ
はうり乃ち弟武を祝へ又賊室をうり乃ち孫ようえ
ーりさ乃ち色と貪骨敗蜜とり人ハ犯人をそうり後
干出ものり人ハ主人をかめたり世話あり大人ハ人多ハ国
をうしるひハ人の大人多ハ乃ち
ものうりにおるをり
入乃日次よハりこさ人あるき人をかめそ所ハ
とばかめ。我りよあるきを所ハのるず次めの所ハ下ハ三乃
ものあり一宗廟ハ二社稷の所ハ三家ハ家ものるず次義王

殷の紂王をうらぶるは箕子と比干と朝鮮国の王なり。
その外は法範とすべきなれども次第なり
後日人を学ぶに古人を学ぶに同じ
ここをかぶるとこころとこころはふくむとしたがひ武は世よ
雷同のかまびすしきもあれども偏頗ひそかに
そなりあるとも必ずしもずあるべきにあらずまたりて要よは
をうべきのひとりなり人のりんそうをとく視察
すべきなり人乃言葉いたりんそうくさんの意ばりにあり
おのづからきりんぞう人ふかきとうるく人をたん
まこと孔子と乃ごさぬとうさ人とりあつ人
あいかぶるまじきさ人のいそきまんとも孔子と

され経のはゆを愚者ふかるまんとり知者ふう
ちまんのいちとしたがう法範朝鮮国王よ
なるべきなれど史記の八人なり傳書はちず
一的射する人のいはきるはさんを天乃況者とうる
めくらべども天乃といふ人は見よはるる山よはるるの意
家よあるる行屋るるを天乃とうとしたりうるまんも
彼人のたりまれ行ふべしいふ一人言曰天乃とうと
一人さるまるとてあるとはたえずぜいよみるくてめん
くの天乃をとたうえうりを見をきるべくて天乃と
うる人はえよありて人乃いふるをこうして福を行ふ。
はるるふあるとするとはゆへよ法来をとるべてな

所し餅をもちゐて多くをそなへをこなひおかし。
たまひ天地よりてもうけのまゝにふかめで餅の
ひかりをでゝ[illegible]ひいきこゝろまんや
仏曰如来ハ天地陰陽の理と
ゝて[illegible]ハ興ゆゑ天地陰陽の理と
ゝて[illegible]ゝ天地とあり[illegible]を天とゝゝ
人もあり仏法ハ[illegible]の二あり[illegible]知の理と第一義
天とゝゝ[illegible]ハ[illegible]天ゝ。欲界六欲天と色界
ゝ十八処と。[illegible]色界ハ天あり仏を
天とゝゝ[illegible]ゝ[illegible]四天ハ仏法護持の人を守
護あんとのゝ[illegible]ゝ[illegible]なり。
[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]孔子[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
聖人[illegible]ハ起居動[illegible]ゝ[illegible]天理ハ[illegible]ゝ[illegible]
いそいの[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]天理ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]を[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
をなり。[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]金
銀珠玉を[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

表すべきと思へば社禊を設けて七廟を祭る。
犧牲を備へ楽風を借すをだにすとて孔子
束脩の礼をすすめ給ふ。いかでか人として束脩
ふかくべきとのまうすなんふかのびて七廟と
祭を報恩の表式なり。束脩をすを礼とされ
ゆへよ。教むとのすすめ。たとへされて礼を面
目なるべきもなり。只法華経も解脱の心の表とあり
を免善を移す志を表すべきなり。たとへば
乃表式なれば仏天ならば月うげとうりもとく
よりなほひろめひろめ成就し。実雖も世を
ちりうふ道ならんとの初心の儒学の人おく心なて。

供粮作膳をなし。賊宝を布施をふり。罪業を
消滅するなりを関て閻魔王を仏法にいるいて。
罷をゆるすとは考へあり。如何なる書にあり。此物
殺の法来にてたるとなるべきと問。愚なるあり。仏
法禁禅悅の食肉はまたばかりなり。殺生を行
るあるべき天人は耳嚢食あるべ人は丸食なり。
たとへば貧人の食は輪王は毒と法にくられた。一切
所は乃善悪ならん。仏天を敬とをもひろよ。貪欲を
捨て悋貪とあるべき善ひよろう。浅来を供し金
銭と女房志はものの義をもんで仏天乃が護もの
う。七廟を祭り来備をたるべ敬心を表すべ

ちうしんぞうだいうんぞうむさうとちうしんを書うしん孫人を
まうよくのうぞ。冥ゑ色いうんだいうんぞ大王ゐ軍ハ行ゐ。
ふ豆ハまーまうぞ。ゐ祐とをり。贄をさうげつまバ。
ちうけれ。ゐ報恩又ハ敬礼し信心をちうし
ゐをりの人へおのづう感応あうと申へうけ。ゐ来を
ちのうけるぞ。ハ未を五石ゐ十石ゐをり。併も富士
山ぞ積ゐハ感応あんういうれぞ大ゐうにそし玄の伝
ハなくハ形を改ゐとぞうずだうとゐぞ。ハ白世おれ
ちうゐ人をおうべ。ゐう人信ゐ人ゐ。観音ゐ形けうえ。
形くわまゐ銀百貫ゐ入れ箱をあうゐ。ゐ形を海豆
いうゐハ九千九貫九百ゐを。観音ゐをり遠賞ゐ

ぞうとを形けうをゐの人れを受て。貫目ゐ。適
観音ゐ人をゐ。ゐ百ハ。ゐ百ゐ。百貫ゐ
の間を。観音ハ百ゐ。ゐ。ゐをおのまうふ
せうう。ゐうをすべきうれバのう人云ゐ。ふ
ちうまひそう。観音ゐ。ちうぞ。おのまハちうぬう。
観音をうゐにゐたうぞゐ。百貫ゐ。ゐ。
百ゐ。百ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。
ちうゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。
ちうゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。
ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。
ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。ゐ。

あハおろうろうろうろうろうるまバ下向とくゝ絶ふおろん
いハゞ風ゝ乃おとてあとゝん
かくてあくゝゝ待ゝ方ありゆとゝ人ゝ知ぬうろ
ちゝぐゝゝるゝを変ゝゝ人ゝ知の行ゝ待さふ附ゝゝ
きゝぐゝゝいざちゝハ来けふ立ゝ作簡をゝさむ
ゝて毛艶なゝを変酒を飲ゝぐちゝけふ蘭のゝゝ
ふ五六人ゝまも酒のゝ敵けゝゆふ人ゝけふハ花ハちゝ
ゝハゝゝん知をゝおゝりおゝゆをゝとありしに人目花盛
てゝゝけまちゝずハ法をありて花をまつぐちゝを
をむぐゝゝ待歌ゝあゝじゝるゝゝ人ゝゝゝん兵
松乃影やゝゝ木の紫ゝゝゝ木ゝゝゝくゝゝゝゝ古ゝ

楊花ゝゝちゝゝゝゝ

とこそハ[illegible]人目[illegible]乃[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

いたをれるなりけるを経ふハ常
を生老病死憂患と説るひ常をとハ程
子うハ常ハ常位と同じきことばなるに経の
んをとりてハされ有り生まれ有り老るとふ物ハ常
の義ハ常をとハ仮法ぞやそもそもきうふ程子仏
家をそ志んとそおのをきうを学をあつそ子業固
りそそあさましけを程子るをとくれとそれ儒
者ふくはくしむしやが物ふ儒学する者程子
うハるをとらきとにねて書の世乃ふ意知るう
るをとるおゆうをひてハさて意ものひ拾
者ハいさや日のうをあされふゆんそれ知も

きく稚て扨つをを二王門のうをとをどりけをびたそ
人ハ者ハとをくも日乃入のふ拾乃日ハとふをを人
りるのそ日月ふ星ハふのをうそ天地とハいう
ふのるそ一人日をつ天地のるハむしりうこにそ
宣夜周髀灵憲とハ三人おのをく天地のをを
ハをしとをうハるをに三人のふあをびふ典をも
さをまるをあさをとをそ中ふ宣夜とハ人の
ゆはハおひうるのそはをを梁の武帝付名儒
を集て宣夜ハ昔天地の儀をふおいるをと
の初るりしをも絶ようをそふハ二人のはなをう
ハとあるとをそうを周髀とハ人ハ周云且ふあるそハ

きれるまでハ空て理のきこえあるハかぎ。拙た。
今の儒者ハ大ゝ霊寛りとなる。渾天乃義ハ
理ハおもしろ。たるとて用ハ用ハ
図たて。ゑ乃奥ゑの理ゑ。ハ天ハ
只ハ。ゑ乃地のうちハ四角ゑ。中ハ大地をなく
東へ西ゑりいぢゑ。北ハ小北ゑ。星ハ車ゑ軸のさ
のゑ。ゑ。を北極とゆ。南ハ南極とゆ。
星ありゑ。れを南極とゆ。南ハ軸さしゑ。ぢ
ゑ車ハ理に中にゑ。ゑ。ハ理ゑ。ゑと行ハ
ゑ。ず。ゑ。ゑ。ゑて。ゑ。て月日ハ陰陽ゑ精ゑて陰の
かりて月とゑ。陽気のかりて日とゑ。星ハ石ゑ

てゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。星ハ落ゑ。ゑ。ハ石ゑて。ゑ。
ゑ。ゑ日月ハ天の光ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑて東へ
くゑめゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。月日ハ。ゑ。
ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。

月を大なる石なんゝ空はひろさるゝはゝ行地うゑて
石とまりうゑんゝ大豆や米などゝつゝるゝ。もゝ
ありゝうゝし。元こゝ龍はまれあげてゝもゝ
たり。龍ゝ石をまれ上て如ゝうゝをもゝどゝ。もゝ国
き長さ石をうたりゝ中はゝ。彩者ゝ初同あまゝ。
龍の合まり龍ゝもゝたゝひてゝどゝたりとゝさゝ
ゝもあゝうゝ。そゝ上清ハ上ゝく天とゝなりとゝどゝうゝぐ
まゝ地はあゝ動ゝれ石ゝ。天ゝゝつゝであんゝ又石ハ行ゝ地
なり。元はあゝまゝぐさゝ行ゝく。又星をもゝて。吉凶禍福を
占ゝるゝハゝひゝうゝあゝるゝ也。石ゝさゝゝ陽あゝゝ
ゝ細なゝゝ。月月はゝく行ゝもゝうゝず石とゝハ

四十七

陽ゝあゝ。一人曰星ハ万物はゝ精ゝゝゝもゝゝう。はゝ義ハ
そゝきハはゝゝゝゝゝ天同目。天ハ金にてはゝゝ生ゝるゝゝ
ゝゝゝゝひゝまゝこゝ行ゝ。陽ゝてはゝゝゝゝゝゝんん
又天とハそゝゝゝ拍をゝてゝはゝゝゝゝ。縄などにく
はゝりけゝゝゝ又天ゝゝゝあゝゝゝ。虚空を
ゝゝゝゝあゝゝゝゝ。ゝゝ天地乃ゝゝゝゝ別の天地をあゝゝ。又地ハ
天乃中ゝあゝてゝゝぶゝゝゝゝゝゝ

あらをこすす給ふ紙せんさくせんさくハ白元言ゐ
さんおいざ坊ん達てちりくみなりめ。ぺこさを友
人とうつま。救ふまうせ。地ゆりけるを

4年 月

あらをこすす給ふ紙せんさくせんさうハ四九ノ書ゐ
さんおいざ坊ん達てちりくゝみなりめ。ぺこるさを友
人とらつま。救(ちく)まるを也。家地ゝ坊りけるを